



とつか 2023年8月会報 第346号

国際会長(IP) Ulrik Lauridsen (Denmark)

2023 主 題 “Let Your Light Shine” 「輝かそう、あなたの光を」

スローガン“Good Communication is the Cornerstone in Every Cooperation”

「良いコミュニケーションは、全ての協力関係の基礎である」

アジア太平洋地域会長(AP) 利根川 恵子 (川越)

~ 主 題 “Be the light for change” 「変革のための光となろう」

スローガン“Shine and empower through fellowship” 「親睦を通して、輝き、力を得よう」

東日本区理事(RD) 山田公平 (宇都宮)

2024 主 題 “Instil Confidence in our Youth!”

「未来のために今、学びと気づきを！未来のために、自信を育み、真の喜びに出会う！」

スローガン“Youth Empowerment through SDGs Youth Action”

「ユースアクションをワイズの主要な活動の一つに」

湘南・沖縄部部長(DG) 黒川 勝 (金沢八景)

主 題 主 題 “初心に帰り、新たな船出に踏み出そう” 副 題 「ワイズメンズクラブはYMCAとともに」

クラブ会長 吉原 訓 主 題「原点回帰」:副会長若木一美・書記 加藤利榮・会計 岡 進・メネット 吉原和子

会員ひとこと

☆ 厚木YMCAにお世話になって ☆

土方 喜美代



先だって、厚木クラブで加藤さんが卓話をされるとお聞きし、皆さんと一緒させていただき、厚木YMCAに行きまわりました。卓話を伺い、改めてワイズの歴史を理解することができました。

厚木YMCAは、私にとり、とても思い出深いYMCAです。今から20年ほど前にヘルパー講座に参加し、半年かけてじっくり勉強し、資格を取得することができました。

以来、昨年10月まで20年にわたり、大好きだったヘルパーの仕事を無事続けることができましたが、その原点がアツギにあったと、今更ながら感謝の気持ちでいっぱいです。

私は、現在、趣味の書道に励んだり、音楽を聴いたり、ゆるやかな日々を送っております。

先だって、7月12日から横浜で開かれた「21世紀国際書展」に作品を出展させて頂きましたが、その書展で思いがけず「厚木市教育委員会・教育長賞」を頂きました。長年、ヘルパーの仕事を続けてきたことへの印と受け止め、心から嬉しく感じられました。

歳を重ねてきてはおりますが、もう少しの間、書と向き合い、励んでいきたいと勇気を与えられた気持ちです。

◎ 今月の聖句 ◎

「だから、目を覚ましていなさい。あなたがたは、その日、その時を知らないのだから。」

—マタイによる福音書第25章13節—

近ごろ、安心だ、安全だ…と思っている日常生活の中で、思いもよらない危険の潜んでいることに気付かされます。日ごろ、だれ一人考えてもみなかったことが起きています。いわば「想定外」ということばが流行語のようになります。心の目を覚まし、慌てない心の備えを…。

強調月間

戦略2023

ワイズの新年度が始まって2か月、最も効果的に運営遂行するための術策をいかにしたら実行に移せるか…を考え、実りあるものに…について考えてみたい。

～ 7月の会合実績 ～ 会員数：11名

例会出席：メ ン 7名・出席率：92%

ゲスト： 2名

ビジター： 3名

メネット： 2名

“To acknowledge the duty that accompanies every right”

★強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う★

日 時：2023年7月22日（土）17：30～19：00
 会 場：湘南とつかYMCA・1階ホール
 出席者：〈ゲスト〉大下利栄子さん・金石万希さん
 〈ビジター〉黒川勝部長・古田和彦部書記・
 兵藤芳朗鎌倉クラブ副会長
 〈クラブ〉吉原会長・若木事業主査・加藤書記・浦出昭吉
 鈴木ひろ子・土方喜美代・瀬戸担当主事

〈メネット〉吉原和子・加藤明子 （以上14名・敬称略）

先月（6月）の例会と同様に、今月も部評議会の後、開催されました。今回は、恒例となっている部長公式訪問と大下ユニリーフ代表への支援金贈呈とその活動報告が主なプログラム、開会セレモニーの後、初めに黒川部長から、横浜市議会で共に活躍した吉原会長、また金沢八景クラブの親クラブに当たるとつかクラブには特別な思いがある旨のご挨拶がありました。

参加者紹介では、心も距離も近い鎌倉クラブから兵藤さん、7月の七夕様のように必ずお出で頂いている金石万希さん、そして部書記で横浜クラブの古田和彦さんから、それぞれにひと言ずつご挨拶をいただきました。

そして、いよいよ本日のメイン・プログラムとなっている大下利栄子UniLeaf代表に対する支援金の贈呈とご本人からの1年間のご報告の時間となりました。「…2008年に発足し、以来、今年で15年目を迎え、とつかクラブ様には感謝のほかかない。お陰様で、点字化した幼児絵本は3千冊を超え、また本年は、特に‘さわる’模型作りに注力した。多くの支援者

のお力添えにより、鎌倉市山ノ内にある鎌倉五山第1位の建長寺様のご協力が得られ、ご本尊の1/50ミニチュアブロンズ像模型をクラウドファンディングを用いて制作・設置しようと挑戦しておられます。

当日の例会には制作される模型（写真）を持参され、見せていただきました。このファンディングは28日の23時に終了しますが、目標の500万円には届いているそうです。

なお、大下さんから目の見える人・見えない人も、このさわる模型からその建造物に触れて、手のひらから得られる情報により、観光ができ、またこれを全国に拡めていきたい…と語られました。建長寺様に設置されたときには、クラブでも訪ねたいと思います。

一同記念撮影に収まり、例会終了後は近くのレストランで、その続きを語り合いました。



☆ 今期第1回部評議会から ☆

若木 一美

日 時：2023年7月22日（火）15：00～17：00
 会 場：湘南とつかYMCA1階ホール
 出席者：吉原会長・若木地域・Yサ事業主査・

加藤クラブ書記（とつかクラブ関係は3名）

上記のとおり、今期第1回部評議会が開催されました。

今期の部長は、金沢八景クラブの黒川勝さんです。申すまでもなく、彼は横浜市民から選ばれた現職の横浜市市議会議員であり、そうした責任を負う立場におられるので、ワイズでのご挨拶や議事進行の手立ては大変円滑・無駄のない理路整然としたひと時で、立て板に水のごとく議事は進められました。（写真）

定刻の15時、評議会の定数33名中、委任状提出者を除き、23名が出席しているので会議は成立、恒例の開会セレモニーも無事終わり、議事へと移りました。

第1号議案は、小松仲史直前部長提出の「2022-23年年度事業報告、別途資料が配布され、部大会やクラブへの公式訪問の状況などの説明と感想等がありました。また、第2号議案「決算報告」が提案され、いずれも承認・可決されました。

なお直前監事の峯尾さんからも監査報告があり、いずれも承認されました。

引き続いて、第3号議案は黒川部長からの部予算（案）の提案です。その中に、沖縄YMCAに対する支援金について、2、3意見が交わされ、協議の結果、東・西日本区の動きやYMCA

のおかれている状況等を勘案し、協議の結果、東・西日本区の動きや、沖縄YMCAの置かれている状況などを検証・勘案した上で執行しては…などの意見が出て、結果としては可決・承認されました。引き続き、第4号議案は、今年度の部大会については、部長から、11月25日（土）・ウクライナ出身で横浜市国際局国際協力課に籍を置くコヴァリエヴスカ・ナタリアさんをお招きして講演会を行うことが提案され、可決・承認されました。5号議案は、CS・Yサ事業主査担当の筆者から、年2～3回、クラブのあるYMCAと、YMCAのないクラブ合同で、「ノルディック・ウォーキング」イベントを開催しては…という提案があり、協議の結果部内各クラブで協力して実施することが承認可決されました。新年度部監事は辻剛さん、ご都合でオンラインにより、配布された資料により、監事としての役割等が伝達されました。



クラブ報告など、各種報告がそれぞれの責任者から行われ、定刻17時、閉会点鐘をもって終了しました。

特別寄稿 ☆ワイズは体験してみなければ分からない?! ☆

長野クラブ 湯田 勝彦



私は、若いころ横浜YMCAで主事として在籍しておりましたが、その頃、若い主事はワイズメンズクラブの担当主事をさせてもらえませんでした。そんなワイズ体験のない状態で山梨YMCAに異動、いきなり甲府21クラブの担当主事を仰せつかり、いわゆる「ワイズの洗礼」を体全体で浴びることになりました。これが私のワイズ原体験です。

甲府21クラブ、甲府クラブの皆さんには、ワイズメンズクラブの担当主事としての関わりを通して、ワイズをまったく知らず、ワイズ経験のない若造の私を、本当に根気よく育てていただきました。そのお陰で、ワイズの「懐の深さ」を知り、「楽しさ」を経験し、そして、それらのことは、今思えば、私のその後のワイズ・ライフのみならず、人生を本当に豊かなものにしてきています。

そして、その後の厚木クラブや現在の長野クラブの設立・チャーターへとつながっていくこととなります。(詳しくはまたの機会に…)

今回、私が改めて気付かされたことは、「ワイズは体験してみなければわからない。」ということです。では、私たちワイズメンにとって大切なメンバー・エクステンションのために、ワイズ未体験の方をどうやってお誘いすれば、初めてのワイズ体験につながれるのでしょうか。

その間に正解はなく、例えば「来月の例会に楽しいからぜひ来て…」 「YMCAバザー、一緒に参加してみない…？」 「リンゴジャム作りをするんだけど、手伝ってもらえる…？」のように、具体的な活動への参加を通してワイズ体験を重ねられるよう、皆でチエを出し合ひましょう…。

(湯田さん、お忙しい中、貴重なご意見、誠に有り難うございました。特に、後半部分は、ワイズ永年の課題です。今後とも宜しく願ひ…)

皆さん、すでにご存じとは思いますが、念のために申し上げますと、当クラブの土方喜美代会員は 湯田さんのお義母様に当たられます。

今から20年ほど前に、湯田さんのご紹介でクラブにご入会いただきました。

土方さんにも、本号1ページ「会員ひとこと」に今回、ご執筆をいただいております。(T/k)

消暑随想

☆最近思う事〜承前☆ 元会員 重村利幸



昨年の2月、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻という信じがたい暴挙が発生し、ロシア軍は連日ウクライナの国土を情け容赦のない攻撃で破壊し、国民を無差別に殺戮し続けています。このような暴挙が今も続いているのです。この現実を目の当たりにして、「国の安全は日米安全保障条約で守られているから心配ない、日本への侵攻はアメリカ軍が駐留していることが抑止力となっているから決して起こらない、万が一日本が武力侵攻を受けるような事態が発生したら、その時はアメリカ軍が護ってくれるから大丈夫…」と、こんな幼稚で非現実的なことをまことしやかに吹聴する一部の政党やマスコミの旧態依然の主張に対して、ちょっとおかしいのではないかと、国民が気付き始めたことには、正直ホッと胸をなでおろしています。アメリカ軍が世界一の軍事力と経済力を持っていた時代ならば、そのような議論も成り立つたかもしれません。しかし、現在のアメリカは、かつてのアメリカではない‘病める巨人’なのです。あえて言わせてもらうなら、このような考え方は‘無知からくる夢想’としか言いようがありません。

国民の一人一人が世界の情勢を見極め、国際政治に関心を持ち、世界の動きに自らの目で監視し続けることが先決で、そうした世界情勢の中に、自分たちが今置かれていることを、先ず、忘れてはならないと思います。

しかしながら、我が国も100年近く前には現在ロシアがウクライナでやっている事と大差のない蛮行をやっていたことを忘れてはならないでしょう。やむを得ず行使する武力は飽くまで自国の領土と国民の生命財産を守るための手段として常々整備し、万が一必要な時は躊躇なくこれを駆使せざる得ないと考えております。

最近になって、防大出身の何人かの元将官や防衛研究所の現役の職員がウクライナの戦況などについて、しばしば、テレビなどを通じ解説などを行っているのを見掛けますが、私としてはあまり感心できません。

専門家たる者は、黙って戦況を研究し、然るべき時に、適時・適切な意見を述べるべきことが最良の道かと思考しております。(以上)

(重村様、さすが「もちほもちや」、貴重なご意見、おっしゃるとおりですね…。) (T/k)

《レザン通信》

☆ 工場見学に行ってきました… ☆



レザンでは、7月14日(金)、川崎にある「味の素」川崎工場の見学に行きました。

レザンでの工場見学は初めての実施でした。普段からよく目にする商品がどのようにして製造されているか、商品に込められている思いや願いについても知る事ができました。また、仕事の現場を直接見ることで、様々な仕事があり、働き方が

横浜 YMCA ワークサポートセンターレザン 相馬 良文

あることも知る機会となりました。

「味の素」をおみやげに頂き、充実した一日となりました。





担当主事 瀬戸俊孝

かつて、今から15年程前に開催されていた湘南とつかYMCAのうたごえ広場が今月15日の14時を皮切りに、月1回の割で始まります。前のは、05年7月19日、初めての「ひろば」開催でした。当時の担当主事は菅原徹也さん、ピアノと指揮は、当時、合唱団におられた家城孝治さんでした。今回の司会・進行は前回と同じ寺田文恵さん、また、ピアノ伴奏は原伴子さんと佐伯水美さんが担当されます(写真)。「いざふたを開けてみると、7月72名、8月107名、9月101名と予想外の好スタートに安堵し…」と当時の記録にあり、また「…とにかく楽しく歌いましょう、この日来られた方々からのアンケートにも“とても楽しかった。”“伴奏者・指揮者・司会が良い。”“次が楽しみ…”との内容が寄せられました。…」とあり、好評なスタートの様子が窺われます。今回の会費は、参加費として“お一人500円・飲物は各自持参”ということになっております。前回に変わらぬ盛況ぶりとなりますよう、スタッフ一同、皆様のお出でを心よりお待ちしております。



【今月の歳時記】

“夕立・天の川”

ゆうだち：短時間に、ザーッと降る雨で、大粒の雨がときには雷をとまなう。主として午後以降るので夕立という。降ったかと思うと、一時間もしないうちにケロッとやんでしまい、後はまたからりと晴れてしまう。積乱雲の通路に当たる所で降る。昔から、「武蔵野の夕立は“馬の背を分ける。””といわれるくらい強い雨が降るとの言い伝えがある。

夕立に一顧もくれず読書かな 立子
 つり橋を渡る夕立の濡らせしを 林火
 夕立に小石のふえし道帰る 梵

あまのがわ：立秋(8月8日頃)の頃になると、天の川が特に美しく明らかに眺められる。銀の砂をまいたように輝いて、あたかも天にある川のようなものである。これは無数の恒星の集まりで、どこで仰いでも美しい。七夕の伝説とも結びつく。

荒海や佐渡に横たふ天の川 芭蕉
 更け行くや水田の上の天の川 惟然
 別るるや夢一筋の天の川 漱石

- ◎ 第1例会：8月19日(土)13時・湘南とつかYMCA 近くなりましたら、皆様に担当主事から連絡をさせていただきます。
- ◎ その他の会合：事前に連絡します。



訃
 東日本区第11代理事をされた越智京子様が、7月19日・ご自宅で病のためお亡くなりになりました。つい先だっの甲府での東日本区大会に参加されたと同っておりましたのに、誠に痛恨の極みです。理事の頃、東京・目白の椿山荘で理事主催のホテル鑑賞会に招かれたのを、今でも鮮やかに思い出します。また、拙宅での20年にわたっての夏の納涼会にはほとんど欠かさずご参加いただきました。この上はご遺族皆さまの平安と併せお祈りします。
 加藤利榮

トピックス ～消夏に代えて～

(その一) たった一つのコトバにも…
 ‘海千山千’～ウミセンヤマセン～いうまでもなく、経験が豊かで抜け目がなく、しぶとく・ずるくなっていくことの例えをいいますが、元はといえば、海に千年、山に千年住んだ蛇は竜になるとの言い伝えなんだそうです。つまり「海に千年、山に千年」の短縮形なんだそうで、竜ともなれば、蛇などは相手にならないことから、経験を積んで世間のウラ・オモテを知り、したたかなるさまを表したことは、‘褒め言葉’に使うのは誤り。英語では As cunning as Captain Drake(ドレイク、イギリスの提督、地球を初めて一周したことで有名。) 抜け目のない人で、しばしば話題になった…とか。

(その二) プリテン編集に思う…
 クラブのプリテンをご担当の皆さん、お疲れさまです。その月の発行が終わるや否や、息つく間もなく次号の企画検討・編集に取り掛かれておいでかと思ひます。プリテン・エディターの宿命かも…。毎月の強鑑項目を始め必要登載記事に誤り・漏れはないか、…に始まり、クラブの会合案内や会員各位に周知・徹底すべき事柄の記事や毎号、連載の形で、予めお願いしてある方々からの文章や写真等々、昨今は、PCの普及により、相手方との遣り取りは、ほとんどメールで事足り、2・30年前とは比較にならない便利な時代となりました。少々神経を使うのは、外部への依頼で、テーマ・字数・提出期限、それに場合により顔写真等々、乏しいチエを絞ってのお願いですネ…。

〈後記〉 ネットウショウ…などのコトバは昨今耳慣れて… (R)